

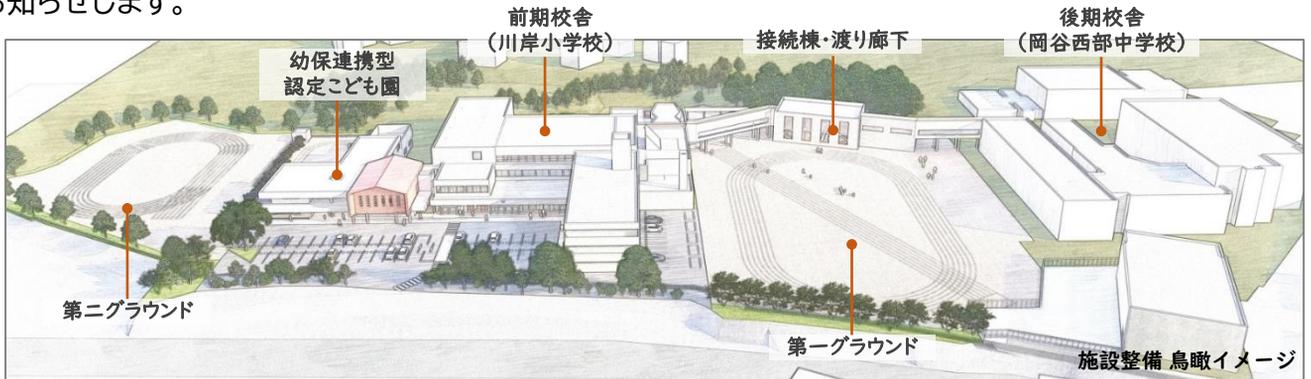


川岸学園NEWS

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～ 第8号

川岸学園の施設整備の基本設計（案）がまとまりました

令和6年7月より学校や保育園関係者とともに川岸学園の施設整備の設計作業を進めてきました。この間、市政懇談会や川岸地区の有志の皆さんによるワークショップの機会を通じて、地域住民や保護者の皆さんからも施設整備に対するご意見や要望もいただき、このたび、基本設計(案)をまとめましたので、お知らせします。



<川岸学園の施設整備方針(設計コンセプト)>

施設全体コンセプト

川岸地域の歴史・伝統・風土を『紡ぎ』、
子どもたちが『織りなす』未来への懸け橋

幼児から小中学生までの子どもたちが、連なる一つの学び舎で過ごし、川岸地域の歴史と伝統、自然や風土を感じながら個性を伸ばし、異年齢による集団生活の中で、社会性を身に付け、未来へ羽ばたく力を育む施設を整備します。



前期校舎 (川岸小学校) 外観イメージ

義務教育学校コンセプト

子どもたちの活動が織りなす、
地域に開かれたしなやかな教育環境の充実

児童・生徒が日々行き交い、学校生活の中で交流を育み、時には地域の住民と触れ合いながら、多様性に包まれた個別最適な学びができる義務教育学校への移行をめざす施設として、学びの多様化や様々な交流活動にフレキシブルに対応できる環境を整備します。



接続棟・渡り廊下 外観イメージ

認定こども園コンセプト

統合各園の歴史を受け継ぎ、
自然に包まれた笑顔溢れるこども園

統合となる各園の歴史を受け継ぎ、天竜川や高尾山に抱かれ、温かい日差しや心地よい風が抜ける自然に包まれた環境の中で、元気さと笑顔溢れる活動や遊びを通じて、大きく成長できるこども園を整備します。



認定こども園 外観イメージ

前期校舎 室内イメージ



壁のないオープンスペースを設け、子どもたちが自由に話し合い、活動できる学びの空間を整備。



川岸小学校の象徴であるプレイルームや滑り台を昇降口前に整備し、子どもたちの憩いの場を創出。

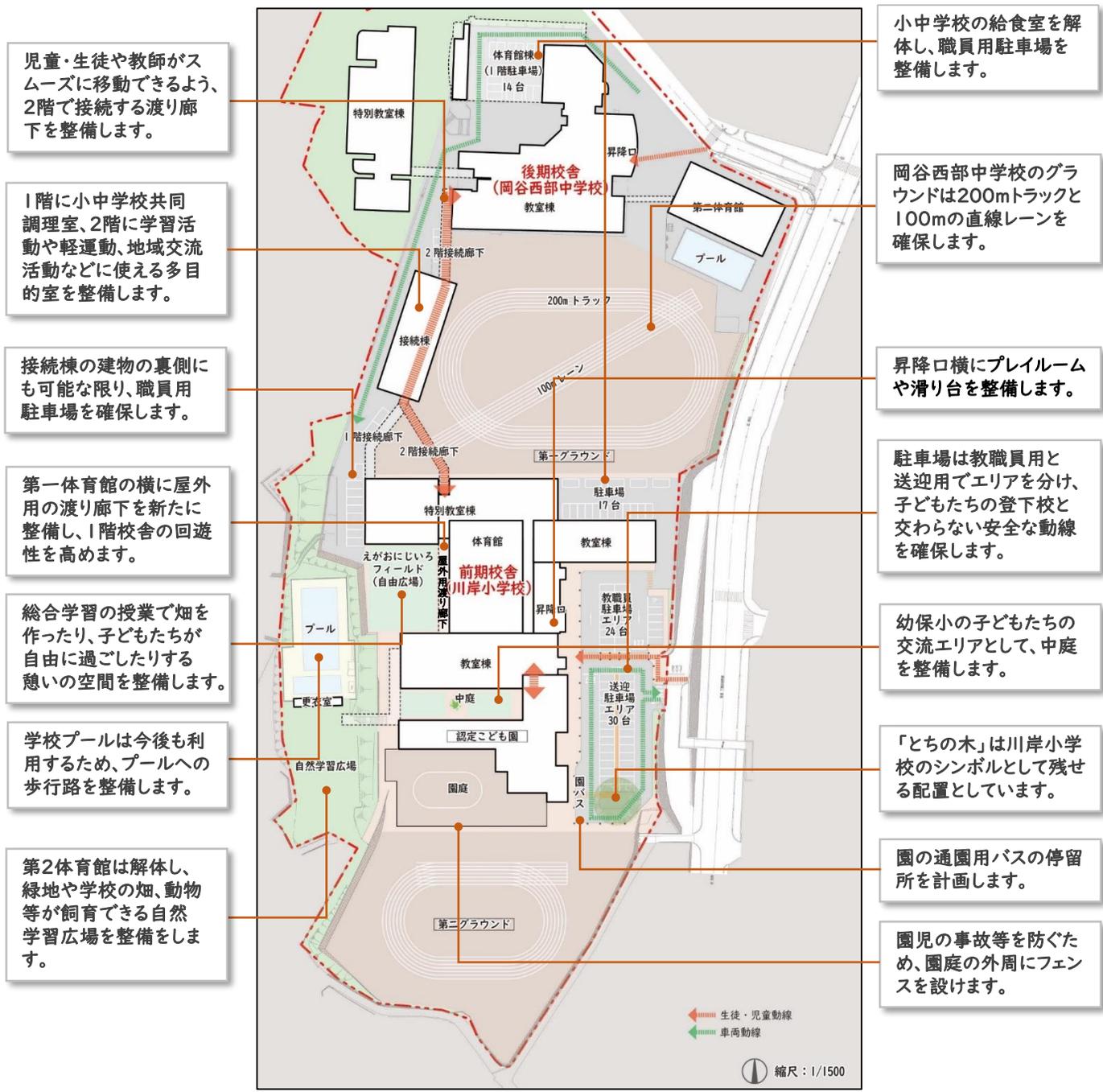
認定こども園 室内イメージ



子どもや親子で楽しめる空間として、武井武雄の世界をモチーフにした絵本コーナーを整備。

配置計画（案）について

子どもたちの登下校（登降園）の動線と送迎車両等の動線が交差しないよう安全に配慮した駐車場計画とし、岡谷西部中学校のグラウンド機能を最大限確保するために小中学校間を2階の渡り廊下で接続します。



児童・生徒や教師がスムーズに移動できるよう、2階で接続する渡り廊下を整備します。

1階に小中学校共同調理室、2階に学習活動や軽運動、地域交流活動などに使える多目的室を整備します。

接続棟の建物の裏側にも可能な限り、職員用駐車場を確保します。

第一体育館の横に屋外用の渡り廊下を新たに整備し、1階校舎の回遊性を高めます。

総合学習の授業で畑を作ったり、子どもたちが自由に過ごしたりする憩いの空間を整備します。

学校プールは今後も利用するため、プールへの歩行路を整備します。

第2体育館は解体し、緑地や学校の畑、動物等が飼育できる自然学習広場を整備します。

小中学校の給食室を解体し、職員用駐車場を整備します。

岡谷西部中学校のグラウンドは200mトラックと100mの直線レーンを確保します。

昇降口横にプレイルームや滑り台を整備します。

駐車場は教職員用と送迎用でエリアを分け、子どもたちの登下校と交わらない安全な動線を確保します。

幼保小の子どもたちの交流エリアとして、中庭を整備します。

「とちの木」は川岸小学校のシンボルとして残せる配置としています。

園の通園用バスの停留所を計画します。

園児の事故等を防ぐため、園庭の外周にフェンスを設けます。

前期校舎(川岸小学校)や接続棟、認定こども園の平面図(諸室の配置場所や内容)の詳細は岡谷市のHP(右記のQRコード)よりご覧いただけます。

*基本設計(案)の内容は、今後の基本設計完了及び実施設計段階で修正、変更が行われる可能性があります。



川岸学園 基本設計（案）の市民説明会を下記のとおり開催します！

日時	場所	対象者
12月13日(金) 19:00~	川岸小学校 (第1体育館)	川岸小学校及び岡谷西部中学校の保護者や川岸地区在住の方
12月16日(月) 19:00~	岡谷市役所 9階大会議室	市内在住で川岸学園に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます

*事前申し込みは不要ですので、当日会場にお越しください。